

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-1-2 事業名：荒浜江下線道路整備事業（市街地相互の接続道路）		
事業費：総額 1,344,717千円 国費1,042,156千円 （内訳：用地費153,246千円、補償費13,285千円、測量設計費79,336千円、 工事費1,098,850千円）		
事業期間：平成24年度～令和2年度		
事業目的：本路線は、常磐自動車道亶理スマートICを中心に東西を結ぶ道路であり、災害公営住宅や防災集団移転先団地の整備により新たなまちづくりが形成される亶理市街地と荒浜市街地を結ぶ道路として整備する。		
事業地区：荒浜地区		
事業結果：町道荒浜江下線 L=2,920m W=11.5m スマートICから亶理中央工業団地を連結し、また、常磐自動車道全線開通による利便性向上により企業の進出が促進され、被災者の雇用の創出に繋がるものである。また、生活圏の移転に伴い、荒浜地区と直結することで、地域間の経済活動や交流の促進を図ると共に、スムーズな避難が可能になった。		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○当該事業で整備した避難道路は、災害発生時、亶理中心市街地への迅速な避難を可能にしたとともに、スマートICから亶理中央工業団地を連結したことにより、企業進出の利便性が向上した。上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いるなど合理的な設計積算のもと事業を推進したため、事業費は妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年8月～平成30年3月
用地	平成25年4月～平成25年9月	平成26年11月～平成31年4月
工事	平成25年7月～平成31年3月	平成27年1月～令和2年5月
○本事業は平成24年8月から事業に着手し、NEXCO協議などを行いながら令和2年5月に工事を終えており、当初想定した期間より時間を要したものの、事業期間内で整備を終えており、競争入札方式などを採用するなど、事業手法としては妥当であったと判断する。		
事業担当部局 亶理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507		